



目次

はじめに	03
安全上のご注意	04
カメラの紹介	06
セット内容	06
各部の名称	07
ボタンと機能	08
電源ボタン	08
シャッターボタン	08
ズームボタン	08
再生ボタン	09
モードボタン	09
削除ボタン	09
マルチ選択ボタン	10
上/マクロボタン	10
右/フラッシュボタン	11
下/音声メモボタン	12
左/セルフタイマー	12
メニュー ボタン	13
ご使用の前に	14
乾電池の取り付け	14
アルカリ乾電池に関する安全上の注意	15
電源のオン/オフ	16
ストラップの取り付け	16
SD/SDHCメモリカードを使用する場合	17
SD/SDHCメモリカードの取り付け	17
SD/SDHCメモリカードを使用する前に	18
ファイル名/ディレクトリ名を変更しない	18
メモリのフォーマット	19
日付/時刻の設定	20
言語の設定	21
液晶モニタ表示	22
液晶モニタアイコン説明	22
静止画モード	23
静止画の撮影	23
シーンモード	24
オートモード	24
ベストモード	24
プログラムモード	25
ポートレートモード	25
変形モード	26
風景モード	26
夜間ポートレートモード	27
夜景モード	27
夕景モード	28
逆光モード	28
花火モード	29
キャンドルモード	29
ピーチモード	30
オーケーションモード	30
静止画のメニュー	31
静止画サイズ	31
画質	32
測光方式	32
撮影モード	33
シャープネス	33
カラー効果	34
フレーム	34
顔認識	35
露出補正	36
ISO感度	37
ホワイトバランス	38
動画モード	39
動画の撮影	39
動画メニュー	40
動画サイズ	40
測光方式	41
カラー効果	41
音声モード	42
音声モード	42
再生モード	43
静止画の再生	43
動画の再生	44
サムネイル表示	44
再生メニュー	45
ファイルの保護	45
「指定ファイル」を選択した場合	45
「全ファイル」を選択した場合	46
ファイルの削除	47
「指定ファイル」を選択した場合	47
「全ファイル」を選択した場合	47
再生画像の拡大	48
トリミング	49
スライドショー	50
カードにコピー	51
サイズ変更(画像調整)	51
画像の回転	52
カラー効果	53
DPOF	54
印刷予約/枚数	54
指定の画像を選択した場合	54
すべての画像を選択した場合	54
インデックス(索引)	55
用紙サイズ	55
キャンセル	55
設定メニュー	56
基本設定	56
液晶モニタの輝度設定	56
起動画面の設定	56
起動音の設定	57
シャッター音の設定	57
ビープ音の設定	57
クイックビューの設定	58
自動電源オフ	58
日付プリント	59
日付・時刻の設定	59
言語の設定	59
ファイルの設定	60
USB接続の設定	60
電源周波数(周波数)の設定	61
初期設定(リセット)	61
フォーマット	62
液晶モニタ(LCDモニター設定)の表示設定	63
ダイレクトプリント	64
プリンタ接続	64
静止画のプリント	65
指定の画像	65
すべての画像	65
オートセット	66
一般設定	66
プリント(印刷)	67
DPOFプリント(DPOF印刷)	67
リセット	68
パソコンとの接続	69
パソコンへ接続する	69
転送時の注意	70
PCカメラ	71
ドライバのインストール	71
PCカメラの使用	71
ソフトウェアのインストール	72
付属アプリケーションのインストール	72
ArcSoft Media Impressionのインストール方法	74
Media Impressionを使用する	74
トラブルシューティング	76
カメラ操作時のトラブル	76
エラーメッセージの対処	77
仕様	78
記録可能枚数/時間の目安	78
必要システム	79
仕様	80
保証規定	82



はじめに

このたびは、デジタルカメラ「DSC935Z」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用の前に、この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してください。

ご使用前にお読みください。

- 結婚式や旅行など大切な撮影の前には必ず事前にテスト撮影を行ってください。
- 著作権や肖像権などにお気をつけください。撮影を制限されている場所もありますのでお気をつけください。
また、プライバシーを侵害するような撮影は行わないでください。
- 本製品の故障およびその他の理由により生じた画像データの破損、消失による利益損失、損害などに関し、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品の使用および故障により生じた直接、間接の損害に関し、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 取扱説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- 本取扱説明書の図、写真、パソコンディスプレイの画面などは説明のために作成したものです。一部実際とは異なります。
- 本製品に付属しているソフトウェアを営利目的として無断でコピーしたり配布することは禁止されています。
- 本取扱説明書の内容の一部もしくは全部を無断で複写することは、個人で楽しまれる場合を除き禁止されています。
- 製品改良のため予告なく外観、仕様などを変更することがあります。
- 本取扱説明書に記載のシステム名、商品名および会社名は各社の商標または登録商標です。
- カメラを長時間使用するとカメラ本体が熱くなりますが、これは異常ではありません。



安全上のご注意

必ずお読みください。

本製品を安全にご使用いただくために、下記の項目をご使用前に必ずお読みになり、正しくお使いください。

本製品を正しくご使用いただき、お使いになる人や他の人々への危害と財産への損害を未然に防止するために、次の絵表示で説明しています。

△危険	△警告	△注意
この指示に従わないで誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う切迫した危険の発生が想定される内容です。	この指示に従わないで誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。	この指示に従わないで誤った取扱をすると、人が障害を負う可能性または、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。

△危険

- 可燃性ガス、爆発性ガスなどが、大気中に存在する恐れのある場所での本製品の使用はおやめください。引火・爆発の原因となります。
- 本製品を分解したり、直接ハンダ付けするなどの加工および、火中投入などは行わないでください。発熱、発火、破裂の危険があります。
- 本製品を高温の場所(真夏の車内、窓辺、暖房器具のそばなど)で使用、保管しないでください。

△警告

- 本製品で太陽または強い光源を見ることは絶対にしないでください。失明など永久視力障害の原因となります。
- 目に深刻な損傷を与える恐れがありますので、近距離(1メートル以内)でフラッシュを発光させないでください。
- 本製品を歩行中、または運転中に絶対使用しないでください。交通事故の原因となります。
- 本製品を足場の悪い環境や、不安定な場所で使用しないでください。事故の原因となります。
- 本製品は防水構造ではありません。水をかけたり、濡らしたりしないでください。製品内部に水が入ると火災や感電、故障の原因となります。
- カメラに何らかの液体が入った場合、使用を中止してください。電源を切り、お近くの販売店にお問い合わせください。
- 感電の恐れがありますので、濡れた手でカメラを触らないでください。
- カメラの分解や改造は行わないでください。火災や感電、故障の原因となります。内部の点検や修理は販売店もしくは当社までご依頼ください。
- 本製品を室外で使用中に落雷の恐れがある場合、すみやかに使用をやめてください。事故の原因になります。



安全上のご注意

必ずお読みください。

△ 警 告

- 小さな付属品を飲み込む恐れがありますので、お子様やペットの手の届く範囲にカメラを放置しないでください。
- ケーブルやストラップが首に巻き付くと窒息の危険があります。お子様の手の届かないところに保管してください。
- ポリ袋(包装用)などを小さなお子様の手の届くところに置かないでください。口にあてて窒息の原因になることがあります。

△ 注意

- 本製品は精密な電子機器です。以下のような場所で使用したり放置すると火災や感電、故障の原因となることがありますので避けてください。
 - 砂、ほこり、ちりの多い場所
 - 火の近く
 - 湿ったところ
 - 振動の激しい場所
 - 温度・湿度の変化が激しい場所
- 車内は、温度変化が激しく高温あるいは低温になり振動もありますので、使用および保管は避けてください。
- カメラを落としたたりぶつけたりして強い振動や衝撃を与えないでください。
- レンズを直射日光に向けて撮影または放置しないでください。集光により内部の部品が破損し、火災などの原因となります。
- 電極部分などには一切触れないでください。感電や故障の原因になります。
- 本製品を保管するとき、上に重い物を載せないでください。故障の原因になります。
- 本製品に付属のケーブルを接続するとき、無理矢理入れたり外したりしないでください。故障の原因になります。
- 付属のCD-ROMはパソコン専用のソフトです。音楽用CDプレイヤーで再生することはしないでください。聴覚障害を引き起こす恐れがあります。
- ストラップを持って振り回さないでください。他人に当たり、けがや事故の原因となることがあります。

その他のご注意

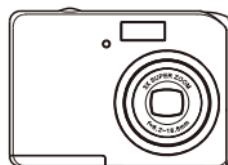
- 電池は、一般に低温になるにしたがって一時的に性能が低下します。寒冷地で使用するときは、本製品を防寒具や衣服の内側に入れるなどして保温しながら使用してください。低温により性能が低下した電池は、常温に戻ると性能は回復します。
- 撮影条件、使用環境および電池により撮影枚数が減少する場合があります。
- 本製品のレンズや液晶モニタが汚れたとき、市販のクリーニング布で拭き取ってください。汚れたままですると、鮮明な写真を撮影することができません。
- ラジオやテレビのお近くでお使いになると、受信障害を引き起こすことがあります。



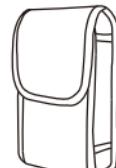
カメラの紹介

▣ セット内容

パッケージに、次の品目が同梱されていることを確認してください。
足りない品目や破損している品目がある場合、ただちに販売店に連絡してください。



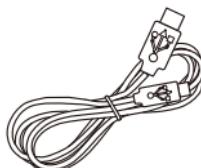
カメラ本体



ポーチ



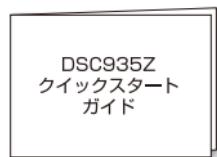
取扱説明書(本書)



USB-PC接続ケーブル



ストラップ



クイックスタートガイド



単3形アルカリ乾電池 2本



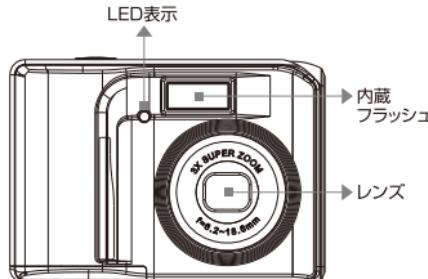
CD-ROM
(パソコン用のソフトウェア)



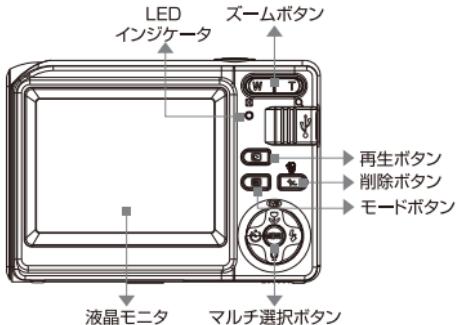
カメラの紹介

各部の名称

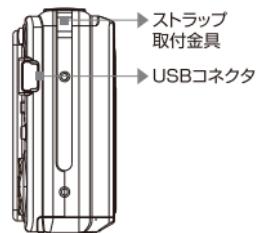
カメラ前面



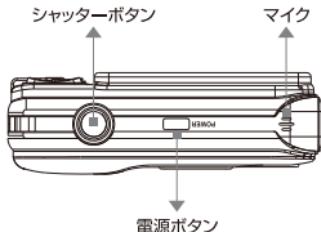
カメラ裏面



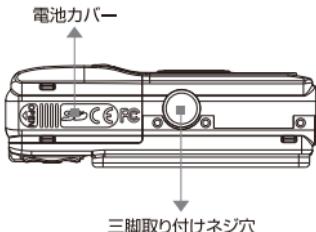
左側面



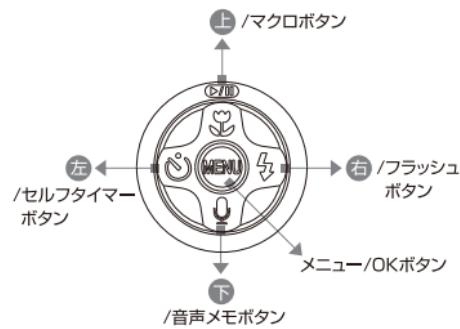
カメラ上面



カメラ底面



マルチ選択ボタン





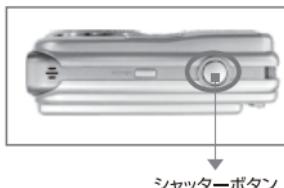
ボタンと機能

□ 電源ボタン

電源をオン／オフします。
詳しくはP.16をご覧ください。

□ シャッターボタン

静止画・動画を撮影する際や、音声メモを記録する際に押します。



シャッター^{ボタン}

□ ズームボタン

光学3倍ズームが搭載されています。

ズーム撮影をする場合は、ズームボタンを操作します。

ズームボタンを右側(T)を押すと、ズームイン(拡大)します。

ズームボタンを左側(W)を押すと、ズームアウト(縮小)します。

デジタルズームを使用する場合は、光学ズームが3倍の最大値で停止後、一度ズームボタン(T)を離し、再度ズームボタン(T)を押します。

ズームアウトの場合も同様です。



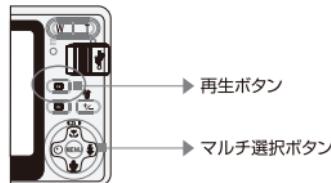
- ◆ デジタルズームの倍率が大きくなると、撮影した画像の解像度は低下します。
- ◆ 動画撮影中は、ズームは使用できません。



ボタンと機能

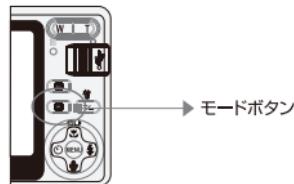
再生ボタン

1. 再生ボタン を押すと、再生モードになります。
2. マルチ選択ボタンの左または右を押して、再生するファイルを選択してください。



モードボタン

電源をオンにすると静止画モードで起動します。
モードボタンを押すごとに
静止画モード→動画モード→音声モードに切り替わります。

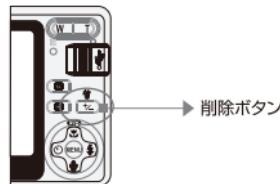


削除ボタン

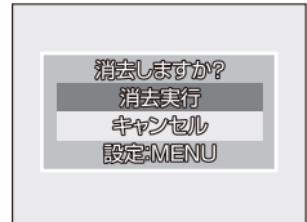
1. 再生時に削除ボタンを押すとファイルが削除されます。
詳しくはP.47をご覧ください。
2. 消去しますか?が表示されます。
マルチ選択ボタンの上または下ボタンを押して
下記のいずれかを選択し、メニュー/OKボタンを押して決定します。

消去実行:表示しているファイルを削除します。

キャンセル:ファイルを削除しません。



2.



- 撮影モードで削除ボタン を押すと、露出補正、ISO感度、ホワイトバランスの設定ができます。
詳しくはP.36~P.38をご覧ください。



ボタンと機能

▣ マルチ選択ボタン

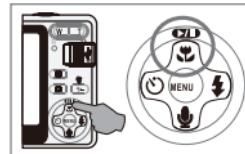
☒ 上 / マクロボタン

☒ 撮影距離

撮影距離を標準とマクロ(近接) に設定できます。

標準 : カメラと被写体までの撮影距離は約0.3m~無限大です。

マクロ: カメラと被写体までの撮影距離は約5cm~30cmです。



- ◆ 液晶モニタでピントが合っていることを確認してからシャッターボタンを押してください。
- ◆ 撮影状況にあわせて設定し、撮影距離内で撮影してください。

☒ 動画再生/一時停止

動画再生モードの場合、マルチ選択ボタンの上ボタンを押すと再生を開始します。

再生中に上ボタンを押すと一時停止します。

動画の撮影中に上ボタンを押すと撮影を一時停止します。

再度上ボタンを押すと撮影を再開します。



ボタンと機能

右/フラッシュボタン

静止画撮影モードでマルチ選択ボタンの右 \blacktriangleleft を押すと
内蔵フラッシュのモード設定をします。

- 静止画撮影モードの場合、フラッシュモードを切り替え、フラッシュ機能を有効にします。

- \blacktriangleleft^A 自動発光 :周辺の光量が不足している場合、自動的にフラッシュが発光します。
- \blacktriangleleft^S 強制発光 :どんな状況でもフラッシュが発光します。逆光での撮影時にお勧めします。
- \blacktriangleleft^S スローシンクロ:シャッタースピードを遅くして、人物等だけではなく、フラッシュの届かない背景も取り込みます。夕方・夜景の撮影に適しています。

- $\textcircled{1}$ 発光禁止 :どんな状況でもフラッシュが発光しません。
博物館等、フラッシュが禁止されている所や、被写体までの距離が離れている場合に適しています。
- $\textcircled{2}$ 赤目軽減 :発光時の赤目を軽減します。

再生画面では、次のファイルへ移動します。



- ◆ フラッシュは静止画専用です。
- \blacktriangleleft^A 強制発光、 \blacktriangleleft^S スローシンクロは、プログラムモードの場合のみ設定できます。
- ◆ フラッシュの有効範囲は、約1m~2mです。
- ◆ 電源オフにすると \blacktriangleleft^A 自動発光に戻ります。



ボタンと機能

■ 下/音声メモボタン

静止画撮影モードでマルチ選択ボタンの下^{マイク}を押すと音声メモを設定します。

設定すると^{マイク}アイコンが表示されます。

音声メモ選択時にシャッターボタンを押すと

静止画が撮影され最大約10秒音声メモを録音できます。

約10秒録音すると自動的にファイルが保存されます。

途中で録音を停止する場合は再度シャッターボタンを押します。



- ◆ 静止画の再生画面からも音声メモを追加できます。
- ◆ 下ボタンを押し、シャッターボタンを押して録音を開始します。再度シャッターボタンを押して録音を終了します。
- ◆ 音声メモのある静止画は♪アイコンが表示されます。

■ 左/セルフタイマ

静止画・動画撮影モードでマルチ選択ボタンの左[○]を押すとセルフタイマーを設定します。

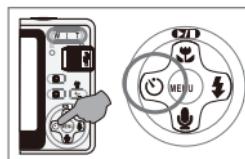
左ボタンを押すとセルフタイマーの設定ができます。

○ : 約10秒後にシャッタが切れます。

○* : 約2秒後にシャッタが切れます。

○○ : 約10秒後にシャッタが切れます。さらに2秒後に2枚目が撮影されます。

再生画面では前のファイルへ移動します。



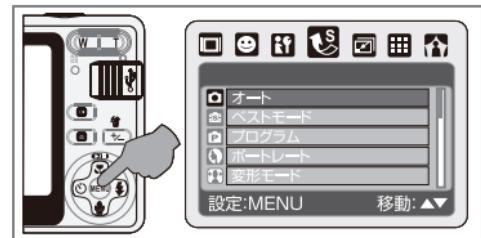
- ◆ セルフタイマは設定後の1枚のみ適用されます。
- ◆ セルフタイマ作動時は、赤色LEDが点滅して動作を知らせます。
- ◆ 動画撮影では、10秒のみ選択できます。約10秒後に撮影が開始されます。終了する場合はシャッターボタンを押してください。



ボタンと機能

▣ メニューボタン

動画・静止画撮影画面または再生画面でメニュー ボタンを押すとメニュー画面になります。





ご使用の前に

□ 乾電池の取り付け

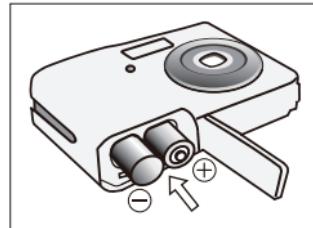
カメラに付属の単3形アルカリ乾電池を取り付けます。

カメラに付属している電池、またはメーカー販売店が推奨する電池以外は使用しないでください。

電池の取り付けは、右図に示す方法で行ってください。電池の取り付け方法が正しくない場合、カメラが破損したり、火災の原因になることもあります。

1. 電池カバーを矢印(刻印)の方向にスライドさせ、電池カバーを開きます。
2. $\oplus\ominus$ 方向を確認して、単3形アルカリ乾電池をセットします。
3. 電池カバーを矢印と反対方向にスライドさせ、電池カバーを閉じます。

2.



- 電池をカメラ本体から着脱する場合は、必ず電源をオフにした状態で行ってください。
- 電池は $\oplus\ominus$ 方向に注意し、正しくセットしてください。



- ◆ 電池残量については、液晶モニタ上のバッテリーアイコンに表示されます。
 - 電池残量は充分です。
 - 電池残量は半分程度です。
 - 電池残量がありません。予備の電池を用意してください。
- ◆ 単3形アルカリ電池またはニッケル水素充電池をご使用ください。
ニッケル水素充電池を使用した場合、電池残量が均等に表示されませんのでご注意ください。
- ◆ オキシライド乾電池は初期電圧が高く、カメラ本体を破損する恐れがあるため、使用しないでください。
- ◆ カメラの操作に必要な電力を得ることができないマンガン乾電池は、使用できません。
- ◆ 電池は気温10°C以下または40°C以上の環境では正常に動作しない場合があります。



ご使用の前に

▣ アルカリ乾電池に関する安全上の注意（対象：アルカリ乾電池使用カメラ）

△ 警告 付属のアルカリ乾電池をご使用の前に必ず、下記の安全上の注意をお読みください。

- ①ショート、分解、加熱、充電(+)、(-)の逆方向の装着をしないでください。使用済みの電池を火に入れるなどしないでください。
また、新しい乾電池と使用した乾電池を混用で使用しないでください。使い切った乾電池はすぐにカメラから取り出してください。
- ②カメラは電源が切れても微弱電流が流れています。長期間（およそ1ヶ月以上）カメラを使用しない場合は、乾電池を取り外して保管してください。
- ③乾電池は乳幼児の手の届かない所に置き、乾電池を飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。乾電池のアルカリ液がもれて、皮膚や衣服に付着した場合は、失明やケガなどの恐れがありますので、きれいな水で洗い流し、すぐに医師の診断・治療を受けてください。
- ④同梱品の乾電池はサンプルです。使用可能時間が一般的な乾電池に比べて短い場合があります。
- ⑤使用済みの乾電池は、お住まいの自治体が定めた方法で処分してください。

▣ リチウムイオン充電池に関する安全上の注意（対象：リチウムイオン充電池使用カメラ）

△ 警告 付属のリチウムイオン充電池をご使用の前に必ず、下記の安全上の注意をお読みください。

- ①初回使用時はフル充電してください。付属の充電器（ACアダプタ）以外で充電しないでください。
- ②ショート、分解、加熱、充電(+)、(-)の逆方向の装着はしないでください。
- ③液漏れ等の異常が発見された場合、ただちに使用を中止してカメラから取り外し、お買い上げ先等にお申し出ください。
電解液が、皮膚や衣服に付着した場合は、失明やケガなどの恐れがありますので、きれいな水で洗い流し、すぐに医師の診断・治療を受けてください。
- ④リチウムイオン充電池をカメラから取り出して保管・持ち運びの場合、安全のためビニール袋・プラスチックケース等に入れてください。
- ⑤リサイクルのお願い



不要になった電池は貴重な資源を守るために廃棄しないで

充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

〈最寄りのリサイクル協力店へ〉

詳細は、社団法人 電池工業会ホームページをご参照ください。

・ホームページ <http://www.baj.or.jp/>

● 使用済み充電式電池の取扱い注意事項

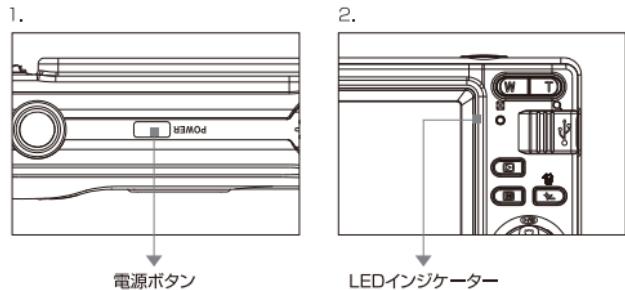
- プラス端子、マイナス端子をテープ等で絶縁してください。
- 皮覆をはがさないでください。
- 分解しないでください。



ご使用の前に

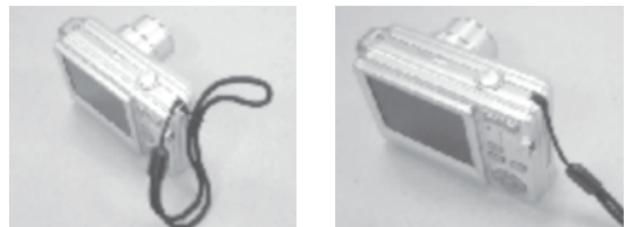
■ 電源のオン／オフ

電源ボタンを約1秒押すと電源がオンします。
電源がオンするとLEDインジケーターが緑に点灯し、
液晶モニタが表示されます。
電源を切るには、電源ボタンを押します。



■ ストラップの取り付け

右の図を参考にして、
ストラップ取付金具にストラップを取り付けてください。

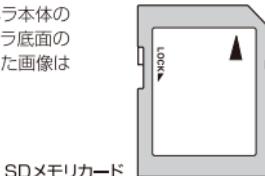




ご使用の前に

SD/SDHCメモリカード(別売)を使用する場合

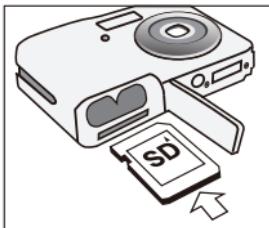
本製品で撮影した画像は、SDカード(別売)を使用しない場合はカメラ本体の32MB内蔵メモリに記録されます。SDメモリカード(別売)をカメラ底面のSDメモリカードスロットにセットして撮影・録画すると、撮影・録画した画像は自動的にSDメモリカードに記録されます。



SD/SDHCメモリカードの取り付け/取り外し

SDメモリカードはカメラ底面のSDメモリカードスロットにセットします。

1. 電池カバーを矢印(刻印)の方向にスライドさせ開けます。
2. 左図を参考にして、SDメモリカードスロットにカチッと音がするまで押し込みます。
3. 電池カバーを閉じます。



- ◆新しいSDメモリカードを使用される際は、あらかじめSDメモリカードの初期化(P.19参照)をしてください。
- ◆撮影した画像に付けられるファイル名の番号(PICxxxx)は、SDメモリカード内の画像を消去しても、連続してカウントされます。
番号をリセットする場合は、「ファイルの設定」P.60をご覧ください。



- 差し込みにくい時は、挿入する方向が間違っている可能性があります。無理に挿入しないでください。
- SDメモリカードをカメラ本体から着脱する場合は、必ずカメラの電源をオフにした状態で行ってください。
- すべてのSDメモリカードで動作を保証するものではありません。



●このカメラに使用できるメモリカードの仕様は、SDメモリカード32MB～2GB、SDHCメモリカード4GB～32GBまでです。その他の種類のカードを使用しますと、製品及びカードが故障する可能性があります。

●SD/SDHCメモリカードの使用を強くお勧めします。

●SDメモリカードは、カメラ店、家電量販店、コンビニ等にあります。有名メーカー製で書き込み速度の速いものをお勧めします。



ご使用の前に

SD/SDHCメモリカードを使用する前に



- ◆新しいSDメモリカードは使用前に本製品でフォーマット(初期化)してください。
- ◆SDメモリカードをセットすると、カメラはSDメモリカードを認識し、内蔵メモリを認識しません。
- ◆この他にも、取り扱いに関する注意事項がP.3~5に記載されていますので必ずよくお読みください。
 - パソコンに接続、データ転送中や、撮影／再生中にSDメモリカードを引き抜かない
パソコンとカメラを接続し、撮影したデータをパソコンに転送している最中や、撮影中または再生中にSDメモリカードをカメラから引き抜かないでください。撮影した画像データ、SDメモリカードおよびカメラ本体が破損する恐れがあります。
 - SDメモリカードのフォーマット(初期化)はカメラで
本製品にはSDメモリカードをフォーマット(初期化)する機能がついています。
フォーマットは必ず本製品で行ってください。フォーマットすると既に記録されている画像データは全て消去されますのでご注意ください。
 - ライトプロテクツイッチについて
SDメモリカードにはライトプロテクツイッチ機能がついています。下にスライドすると、SDメモリカードはロックされ、SDメモリカードへの記録／消去が禁止され、保存されている画像などのデータが保護されます。記録／消去する場合はロックを解除してください。
- ◆下記の注意事項をよくお読みになり、正しい取り扱いを行ってください。



ファイル名／ディレクトリ名を変更しない

パソコンでSDメモリカードに保存されている画像データのファイル名やディレクトリ名を変更したり、カメラで記録された画像データ以外のファイルを書き込まないでください。カメラで認識できなくなり、機能に障害がかかる恐れがあります。



- SDメモリカードは精密機器ですので、無理な力を加えたり、乱暴に扱わないでください。また、SDメモリカードが静電気を帯びていると、うまく認識されなかったり、カメラの誤作動など障害が起こる恐れがあります。
- SDメモリカードを使用中、誤作動や故障により記録内容が失われることがあります。記録されたデータの破損、消失につきましては、故障や損害の内容および原因にかかわらず、当社では一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- SDメモリカードに異常があると思われる場合は、フォーマットすることで正常に動作する場合があります。その際は、本製品のフォーマット機能をお試しください。(フォーマットすると、記録されている画像データは全て消失されますので、あらかじめご了承の上、フォーマットを行ってください。必要に応じてデータをパソコンやCDにコピーしてからフォーマットしてください。)
- 電極部(金色の金属部分)が汚れてしまった場合は、乾いた清潔な布などで汚れを軽く拭き取ってください。



ご使用の前に

▣ メモリのフォーマット

メモリをフォーマット(初期化)する機能です。



- ◆カメラにSDメモリカードがセットされている時は、SDメモリカードがフォーマットされます。
SDメモリカードがセットされていない時は内蔵メモリがフォーマットされます。



- SDメモリカードをこのカメラで使用する前には、必ずフォーマットを行ってください。
- フォーマットを行うとSDメモリカードに記録された全てのデータが消去され、初期化されますのでご注意ください。
- SDメモリカードのフォーマットは、必ず本製品のフォーマット機能で行ってください。(パソコン上でフォーマットした場合、動作保証できません。)
- 保護設定を行ったファイルでも、フォーマットを実行すると消去されています。
- フォーマットする前に必要に応じてファイルをパソコンやCDにコピーしてください。
- SDメモリカードのライトプロテクトスイッチ(P.18参照)でロックしている場合、フォーマットは行われません。

1. カメラの電源ボタンを約1秒押して電源を入れます。
2. メニュー/OKボタンを押し、メニュー画面を表示します。
3. マルチ選択ボタンの左または右ボタンを押し、「設定」を選択します。
4. マルチ選択ボタンの上または下ボタンを押して「フォーマット」を選択し、マルチ選択ボタンの右ボタンを押します。
5. マルチ選択ボタンの上または下ボタンを押して「いいえ」または「はい」を選択し、メニュー/OKボタンを押します。
「いいえ」:フォーマットしません。
「はい」:フォーマットします。
6. 全てのファイルを消去しますが表示されます。
マルチ選択ボタンの上または下ボタンを押して
「フォーマット実行」または「キャンセル」を選択し、メニュー/OKボタンを押して実行します。
フォーマット実行:フォーマットします。
キャンセル:フォーマットしません。
7. 再度、メニュー/OKボタンを2回押して、撮影画面に戻ります。





ご使用の前に

□ 日付／時刻の設定

カメラを使用する前に、日付／時刻を設定します。

1. カメラの電源ボタンを約1秒押して電源を入れます。
2. メニュー/OKボタンを押します。メニュー画面が表示されます。
3. マルチ選択ボタンの左または右ボタンを押して「設定」を選択します。
4. マルチ選択ボタンの上または下ボタンを押して「日付＆時間」を選択し、マルチ選択ボタンの右ボタンを押します。
5. 赤色で表示されている数値が変更できます。
マルチ選択ボタンの上または下ボタンを押して年を設定し、マルチ選択ボタンの右ボタンを押して月に移動します。
同様に日を設定します。
6. 年月日の設定が終わりましたらマルチ選択ボタンの右ボタンを押して時刻を設定します。
24時間表示で時刻を同様に設定します。
7. 時刻の設定が終わりましたらマルチ選択ボタンの右ボタンを押して「年/月/日の表示順」を設定し、メニュー/OKボタンを押して決定します。
8. 度再、メニューボタンを2回押して、撮影画面に戻ります。

4.



5.



- ◆「日付／時刻」は、リセットしても初期設定には戻りません。
- ◆「日付／時刻」は、全てのデータに記録されます。設定は正確に行ってください。



ご使用の前に

▣ 言語 (LANGUAGE) の設定 (初期設定:日本語)

液晶モニタに表示する言語を設定します。

1. カメラの電源ボタンを約1秒押して電源を入れます。
2. メニュー/OKボタンを押します。メニュー画面が表示されます。
3. マルチ選択ボタンの左または右ボタンを押して「設定」を選択します。
4. マルチ選択ボタンの上または下ボタンを押して「LANGUAGE」を選択し、マルチ選択ボタンの右ボタンを押します。
5. マルチ選択ボタンの上または下ボタンを押して「日本語」等を選択し、メニュー/OKボタンを押して決定します。
選択可能な言語は、
英語、日本語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、イタリア語、トルコ語、
ロシア語、タイ語、ポルトガル語、簡体中国語、繁体中国語です。
- 7.再度、メニュー/OKボタンを2回押して撮影画面に戻ります。

4.



5.



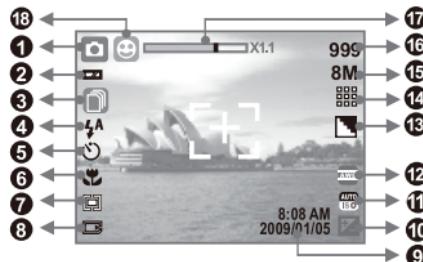
◆「言語」は、リセットしても初期設定には戻りません。



液晶モニタ表示

■ 液晶モニタアイコン説明

動画モード、静止画モード時に
液晶モニタに表示されるアイコン



*設定により表示されるアイコンは異なります。

①動作モード &シーンモード

- 静止画(オート)モード
- 動画モード
- 音声モード
- 再生モード
- オート
- ベスト
- プログラム
- ポートレート
- 変形
- 風景
- 夜間ポートレート
- 夜景
- 夕陽
- 逆光
- 花火
- キャンドル
- ビーチ
- オークション

②電池状態

- -
 -
- P.14をご覧ください。

③撮影モード

- 一枚撮影
- 連続撮影
- AEB
- オート
- 赤目軽減
- 強制発光
- スローシンクロ
- 発光禁止
- 2秒
- 10秒
- 10秒+2秒

⑥撮影距離

- マクロ(近接)
- スポット測光
- マルチ測光

⑧メモリカード

- SD/SDHCメモリカード

⑨日付と時間

- (0.5EV刻み)

⑪ISO感度

- オート
- 100
- 200
- 400

⑫ホワイトバランス

- オート
- 昼光
- 曇り
- 夕景
- 蛍光灯
- 白熱灯
- カスタム

⑯シャープネス

- ソフト
- ノーマル
- ピッピッド

⑭画質

- スーパーファイン
- フайн
- ノーマル

⑮サイズ

- | | |
|-----|-----------------------------|
| 静止画 | 12M 4032x3024
(ソフトウェア補間) |
| | 9M 3488x2616 |
| | 5M 2592x1944 |
| | 1M 1280x960 |
| 動画 | |
| | 720 720x480 |
| | 640 640x480 |
| | 320 320x240 |

⑯撮影可能枚数 &動画撮影可能時間 (目安です)

⑰ズーム表示

⑱顔認証



静止画モード

▶ 静止画の撮影

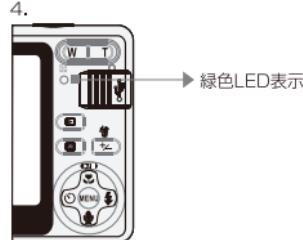
静止画を撮影します。

1. カメラの電源をオンにします。静止画モードで起動します。
2. 液晶モニタで、被写体を捉え、必要に応じてズームを使用して構図を決めます。
3. シャッター ボタンを半押しします。
4. カメラをしっかりと構え、シャッター ボタンを完全に押して撮影します。
5. 緑色LED表示の点滅が止まれば、次の撮影が可能です。
6. 静止画は、個別のファイル名が付いて自動的に保存されます。

2.



4



- ◆ シャッター ボタンを軽く押すと、途中で少し止まるところがあります。ここまで押すことを半押しと呼びます。
- ◆ 半押し状態の時、カメラが自動的にピントと露出を合わせます。ピントと露出が決定すると白色のAFフレームが緑色になります。
- ◆ 赤色になった場合は、ピントが合っていません。P.10「撮影距離」をご覧ください。
- ◆ 「光量が不足しています」と表示された場合は、フラッシュの発光・三脚の使用をお勧めします。



静止画モード

■ シーンモード(初期設定:オートモード)

シーンモードを選択してさまざまな撮影状況に対応します。

1. 静止画撮影モードの時、メニュー/OKボタンを押します。
2. マルチ選択ボタンの左または右ボタンを押して「モード設定」を選択し、マルチ選択ボタンの上または下ボタンを押してモードを選択し、メニュー/OKボタンを押して決定します。

■ オートモード

一般的な撮影モードです。

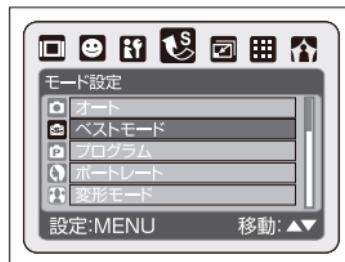
オートモードでは、一部の設定が制限され、設定を変更することはできません。



■ ベストモード

ベストモードでは、様々なシーンに対応し、カメラが自動的にベストな設定を行います。

ベストモードでは、一部の設定が制限され、設定を変更することはできません。



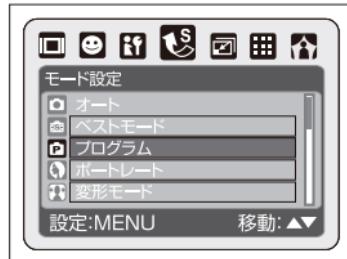


静止画モード

■ プログラムモード

プログラムモードでは、すべての設定を変更することができます。

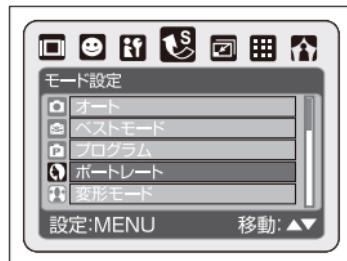
お好みの撮影表現になるように設定ください。



■ ポートレートモード

ポートレートモードでは、顔肌を自然なトーンで撮影します。
顔にピントが合うように設定されます。

ポートレートモードでは、一部の設定が制限され、
設定を変更することはできません。





静止画モード

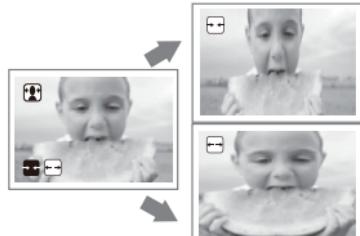
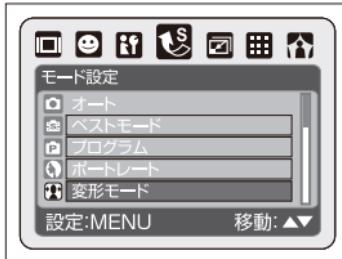
□ 変形モード

変形モードでは被写体を縦長や横長に変形して楽しい撮影ができます。

変形モードでは、一部の設定が制限され、設定を変更することができません。

下記のいずれかを選択してOKボタンを押します。

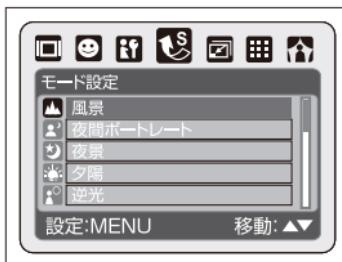
- : 細くする
- : 太くする



□ 風景モード

風景モードは景色の撮影に適しています。

風景モードでは、一部の設定が制限され、設定を変更することができません。





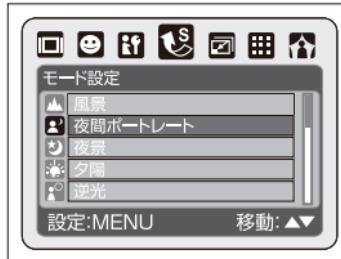
静止画モード

夜間ポートレートモード

夜間ポートレートモードは夜間人物の撮影に適しています。

夜景とのバランスも自動調整されます。

夜間ポートレートモードでは、一部の設定が制限され、
設定を変更することができません。



夜景モード

夜景の撮影に適しています。三脚等の使用をお勧めします。

夜景モードでは、一部の設定が制限され、
設定を変更することができません。





静止画モード

夕景(夕陽)モード

夕景の撮影に適しています。三脚等の使用をお勧めします。

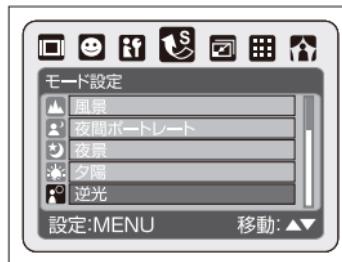
夕景モードでは、一部の設定が制限され、
設定を変更することができません。



逆光モード

逆光時の撮影に適しています。

逆光モードまたは風景モードでは、一部の設定が制限され、
設定を変更することができません。



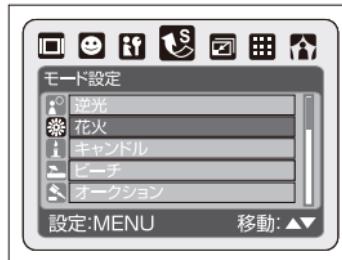


静止画モード

花火モード

花火の撮影に適しています。三脚等の使用をお勧めします。

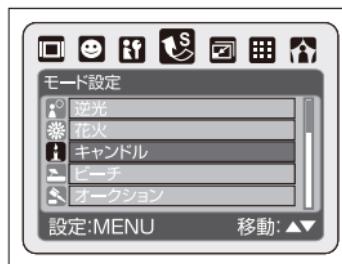
花火モードでは、一部の設定が制限され、
設定を変更することができません。



キャンドルモード

キャンドルの灯りの時の撮影に適しています。

キャンドルモードでは、一部の設定が制限され、
設定を変更することができません。



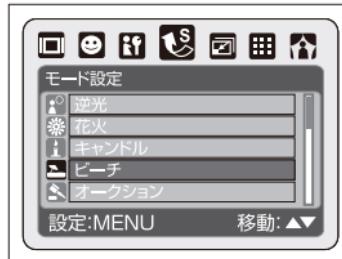


静止画モード

■ ビーチモード

海での撮影に適しています。

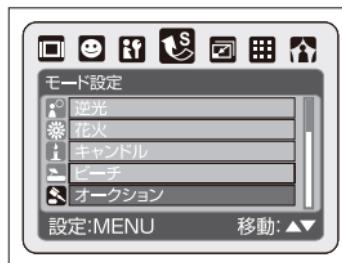
ビーチモードでは、一部の設定が制限され、
設定を変更することができません。



■ オークションモード

ウェブサイトの撮影に適しています。

オークションモードでは、一部の設定が制限され、
設定を変更することができません。





静止画モード

▣ 静止画メニュー

各種設定をします。

1. 静止画(撮影)モードの時、メニュー/OKボタンを押します。
2. マルチ選択ボタンの左または右ボタンを押して項目を選択します。
3. 上または下ボタンを押して設定を選択し、メニュー/OKボタンを押して決定します。

▣ 静止画サイズ(初期設定:9M)

静止画サイズを設定します。

12M : 1219万画素(ソフトウェア補間)

9M : 912万画素

5M : 503万画素

1M : 122万画素



◆大きなサイズほど高画質になりますが、データ容量も大きくなります。同じSDメモリカードで記録できる枚数が少なくなります。



静止画モード

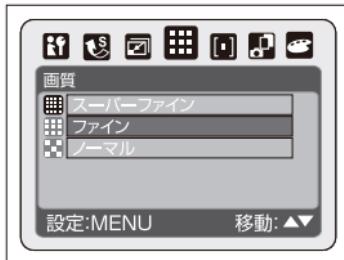
■ 画質(初期設定:ファイン)

画像品質を選択します。

:スーパー・ファイン(最高画質)

:ファイン(高画質)

:ノーマル



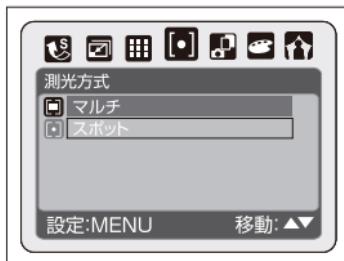
◆高い画質を選択するほど高画質になりますが、データ容量も大きくなります。同じSDメモリカードで記録できる枚数が少なくなります。

■ 測光方式(初期設定:マルチ測光)

露出の測光方式を設定します。

マルチ測光:被写体を平均的に測光し、最適な露出を算出します。

スポット測光:被写体の中央部を重点的に測光します。



- ◆一般的な測光方式は、マルチ測光です。
- ◆スポット測光は、被写体の一部(顔等)を露出の基準にします。逆光の場合、顔が暗くなるのを防ぐ効果があります。
- ◆被写体周辺に明暗差がある場合、最も重要な部分の明るさを基準にします。
- ◆プログラムモードの場合のみ設定できます。
- ◆電源をオフにすると初期設定に戻ります。



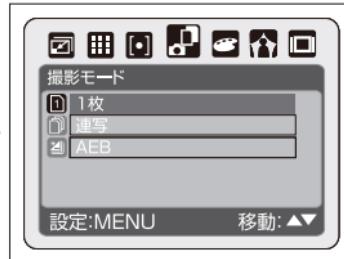
静止画モード

■ 撮影モード(初期設定:1枚撮影)

静止画を撮影する場合、

一枚撮影または連続撮影を選択します。

- 1 枚連写 : シャッター ボタンを押すと一枚撮影します。
- 連写 : シャッター ボタンを押し続けると、連続撮影します。
- AEB : シャッター ボタンを押すと露出をずらした3枚を撮影します。

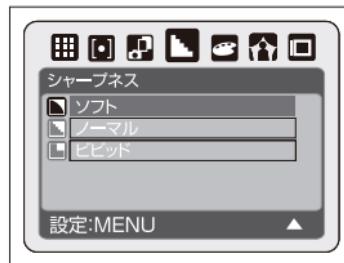


- ◆ プログラムモードの場合のみ設定できます。
- ◆ 撮影モードは静止画専用メニューです。
- ◆ 電源をオフにすると初期設定に戻ります。

■ シャープネス(初期設定:ノーマル)

画像の輪郭に効果を加えます。

- ソフト : 撮影した画像の輪郭を滑らかにします。
PCでの画像編集に適しています。
- ノーマル : 効果を加えません。
- ヒビッド : 撮影した画像の輪郭をよりはっきりと強調します。
ノイズが強くなることがあります。



- ◆ プログラムモードの場合のみ設定できます。
- ◆ 電源をオフにすると初期設定に戻ります。

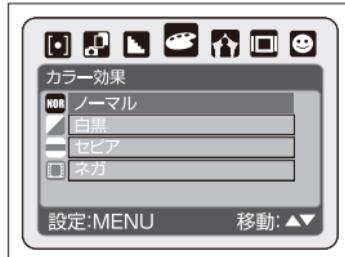


静止画モード

■ カラー効果(初期設定:ノーマル)

効果を加えることで、印象の異なる写真にすることができます。

- ノーマル :効果を加えません。
- 白黒 :モノトーン調の効果を加えます。
- セピア :セピア調の効果を加えます。
- ネガ :ネガフィルムのような反転の効果を加えます。

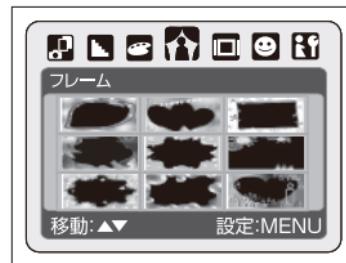
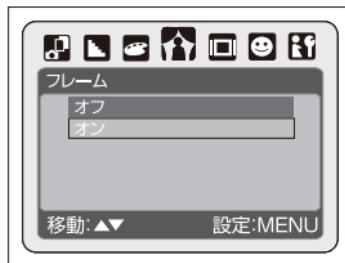


- ◆ プログラムモードの場合のみ設定できます。
- ◆ 電源をオフにすると初期設定に戻ります。

■ フレーム(初期設定:オフ)

フレームを付けて静止画を撮影します。

- オフ :フレームを付加しません。
- オン :9種類のフレームの中から任意のフレームを付加します。
 - オンを選択してメニュー/OKボタンを押します。
 - マルチ選択ボタンの上/下または左/右ボタンを押して赤枠を移動し、フレームを選択。
 - メニュー/OKボタンを押して決定します。



※一部実際の画面と異なります。



- ◆ プログラムモードの場合のみ設定できます。
- ◆ フレームは静止画専用メニューです。
- ◆ 電源をオフにすると初期設定に戻ります。



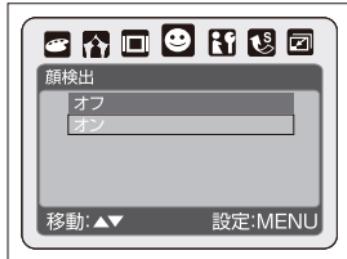
静止画モード

☞ 顔認証(顔検出／初期設定:オフ)

人の顔が自動的に検出され、最適に撮影されます。

カメラを垂直または水平に構えてください。

1. シャッター ボタンを半押しします。
2. 顔を検出すると黄色の四角枠が表示され、ピントが合うと緑色になります。
3. シャッター ボタンを完全に押して撮影します。



- ◆顔の検出機能は静止画像の撮影でのみ利用できます。
- ◆顔の検出機能の有効距離は2mまでです。
- ◆状況によっては、顔検出機能が正しく動作しない場合があります。
- ◆電源をオフにすると初期設定に戻ります。



- 次の場合、顔の検出機能は有効に機能しません。
 - ・顔が眼鏡、帽子、頭髪などで隠れている場合
 - ・被写体が横を向いていたり、顔を傾けていたりする場合
 - ・被写体が離れていて顔が識別しづらい場合



静止画モード

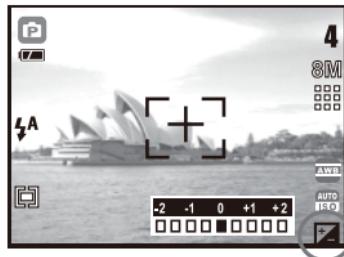
露出補正(初期設定:0 EV)

手動で露出値を変更する場合に使用します。

被写体の撮影結果が暗く濁れる場合は+(明るく)補正し、明るすぎる場合は-(暗く)補正します。

-2.0~プラス2.0EV(0.5EVステップ)の間で調整します。

1. 撮影モード時に削除ボタン~~□~~を押します。
2. マルチ選択ボタンの左または右ボタンを押して補正值を選択し、メニュー/OKボタンを押して決定します。
3. 設定すると~~□~~アイコンが表示されます。



◆プログラムモードでは、削除ボタン~~□~~の後、上または下ボタンを押して「露出補正」を選択してから補正值を選択します。

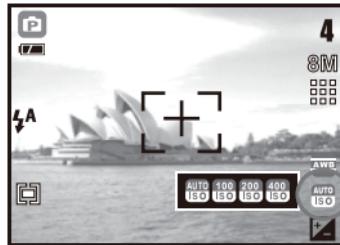


静止画モード

ISO感度

手動でISO感度を変更する場合に使用します。

1. 撮影モード時に削除ボタン~~■~~を押します。
2. マルチ選択ボタンの上または下ボタンを押して「ISO感度」を選択します。
3. 左または右ボタンを押して、下記のいずれかを選択してメニュー/OKボタンを押して決定します。



オート:自動で設定されます。

100 :屋外の晴天時での撮影に適しています。

200 :屋外の曇天または明るい室内の撮影に適しています。

400 :屋内での撮影に適しています。



- ◆ 上記説明はあくまでも目安です。撮影結果を確認しながら設定してください。
- ◆ プログラムモード時に設定可能です。
- ◆ 感度を上げると画像にノイズが発生する場合がありますのでご注意ください。



静止画モード

■ ホワイトバランス

オートでの色調が思わしくない場合、
さまざまな被写体周辺の状況に応じてホワイトバランスを調整し、
希望の色調に近づけます。

1. 撮影モード時に削除ボタン~~■~~を押します。
2. マルチ選択ボタンの上または下ボタンを押して
「ホワイトバランス」を選択します。ISO感度が表示されます。
3. 左または右ボタンを押して
下記のいずれかを選択してメニュー/OKボタンを押して決定します。



- オート :自動で調整します。
- 曜光 :屋外での晴天時の撮影に適しています。
- 曇り :屋外での曇天および日陰での撮影に適しています。
- 蛍光灯 :屋内の蛍光灯下での撮影に適しています。
- 白熱灯 :屋内の白熱灯下での撮影に適しています。
- 夕景 :夕景での撮影に適しています。
- カスタム:このモードは使用できません。



◆ プログラムモード時に設定可能です。



動画モード

動画の撮影

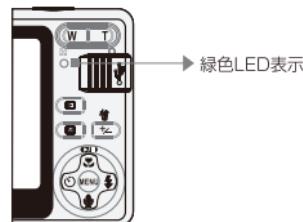
動画を撮影します。

1. カメラの電源をオンにします。静止画モードで起動します。
2. モードボタンを押して動画モードを選択します。
3. 液晶モニタで、被写体を捉え、必要に応じてズームを使用して構図を決めます。
4. シャッターボタンを押して、録画を開始します。
5. 撮影中は緑色LED表示が点滅します。
録画中にマルチ選択ボタンの上ボタンを押すと一時停止します。
再度上ボタンを押すと録画を再開します。
6. シャッターボタンをもう一度押すと録画を終了します。
7. 動画は、個別のファイル名が付いて自動的に保存されます。

2.



5.



- 動画1ファイルの最大サイズは、3.8GBです。
- 動画の撮影は、ズームを操作できません。あらかじめご了承ください。



動画モード

■ 動画メニュー

動画の設定メニューです。

1. 動画(撮影)モードの時、メニュー/OKボタンを押します。
2. マルチ選択ボタンの左または右ボタンを押して、各項目を選択します。
3. 上または下ボタンを押して、設定を選択し、メニュー/OKボタンを押して決定します。

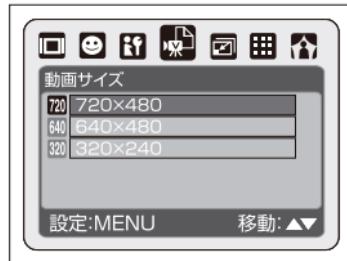
■ 動画サイズ(初期設定:640×480)

動画のサイズを設定します。

720: 720×480

640: 640×480

320: 320×240



◆ サイズを大きくすると、画質が向上しますが、データ容量も大きくなり同じSDメモリカードで録画できる時間が短くなります。



動画モード

■ 検光方式

P.32「検光方式」をご覧ください。

■ カラー効果

P.34「カラー効果」をご覧ください。



音声モード

▣ 音声モード

テープレコーダーのように音声を録音します。

1. 電源ボタンを押してカメラの電源を入れます。
2. モードボタンを2回押して「音声メモ」モードにします。
3. シャッター ボタンを押して録音を開始します。
4. シャッター ボタンを再度押して録音を終了します
(録音中は緑色LED表示灯が点滅します)。
5. 録音を一時停止するには、マルチ選択ボタンの上ボタンを押します。
上ボタンを再度押すと録音が再開されます。
6. 音声モードを終了する場合は、モードボタンを押し、撮影画面に戻ります。

2.



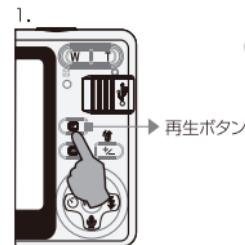
◆ カメラにはスピーカーが装備されていません。音声ファイルの再生はパソコンを使用してください。



再生モード

▣ 静止画の再生

- 撮影モード時、再生ボタン▶を押すと、再生モードになります。
- マルチ選択ボタンの左または右ボタンを押して
再生するファイルを選択してください。、





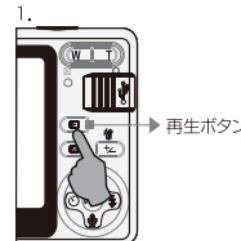
再生モード

■ 動画の再生

- 撮影モード時、再生ボタン ▶ を押すと、再生モードになります。
- マルチ選択ボタンの左または右ボタンを押して、再生するファイルを選択します。
- 上ボタンを押すと再生を開始します。
- 再生中に上ボタンを押すと一時停止し、再度上ボタンを押すと再開します。
- 再生中に右ボタンを押すと早送りします。
再生中に左ボタンを押すと巻き戻します。



カメラにはスピーカーが装備されていませんので音声は再生されません。
パソコンで再生する時には、音声も再生されます。

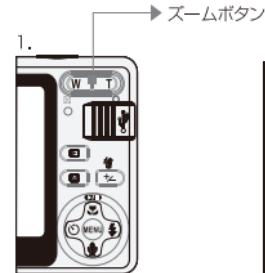


■ サムネイル表示

- 再生モード時、ズームボタンをズームアウト (W) ボタンを押すとサムネイル (9画面) 表示されます。
- マルチ選択ボタンの上／下または左／右ボタンを押して、再生するファイル (赤枠を移動して) を選択します。
- ズームボタンをズームイン (T) を押す、またはメニュー/OKボタンを押すと一画面表示に戻ります。



◆ 静止画、動画、音声ファイルが同時に表示されます。
◆ 動画ファイルは撮影された最初のシーンが停止して表示されます。





再生モード

再生メニュー

撮影モード時、再生ボタン [▶] を押して再生モードにします。

ファイルの保護

ファイルの誤消去を防ぐために指定したファイル(画像等)を保護します。
保護されたファイルは削除できません。

- メニュー/OKボタンを押して再生メニューを表示します。
- マルチ選択ボタンの左または右ボタンを押して「画像保護」を選択します。
- 上または下ボタンを押して「指定ファイル」または「全ファイル」を選択し、メニュー/OKボタンを押して決定します。

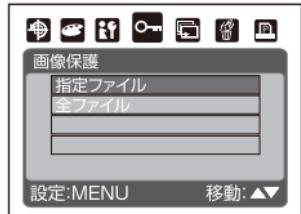
指定ファイル : 選択した画像を保護します。

全ファイル :すべての画像を保護します。

「指定ファイル」を選択した場合

- A1. 6画面のサムネイル表示されます。
- A2. マルチ選択ボタンの上/下または左/右ボタンを押して赤枠を移動して画像を選択し、ズームボタンの左(W)または右(T)を押して保護します。
保護された画像は マークが表示されます。
- A3. さらに保護する場合は上/下または左/右ボタンを押して保護する画像を選択し、ズームボタンの左(W)または右(T)ボタンを押して保護します。
- A4. 保護を解除する場合は上/下または左/右ボタンを押して解除する画像を選択し、ズームボタンの左(W)または右(T)を押すと解除します。
- A5. 保護の設定を終了する場合は、シャッターボタンまたは再生ボタンを押して撮影画面に戻ります。

2.



A1.



A2.





再生モード

☒ 「全ファイル」を選択した場合

B1. 再度、メニュー/OKボタンを押して保護します。

B2. 保護を解除する場合は、ズームボタンの左(W)または右(T)ボタンを押し、メニュー/OKボタンを押します。

B1.



◆保護と未保護が混在する場合には、全て保護解除は実行できません。
個別に保護を解除してください。



再生モード

☒ ファイルの削除

不要なファイル(画像等)を削除します。

1. メニュー/OKボタンを押して再生メニューを表示します。
2. マルチ選択ボタンの左または右ボタンを押して「消去」を選択します。
3. 上または下ボタンを押して「指定ファイル」または「全ファイル」を選択し、メニュー/OKボタンを押して決定します。

指定ファイル:ファイルの中から指定したファイル(画像等)を削除します。

全ファイル :すべてのファイルを削除します。

2.



☒ 「指定ファイル」を選択した場合

A1. あらかじめ削除するファイルを表示しておきます。

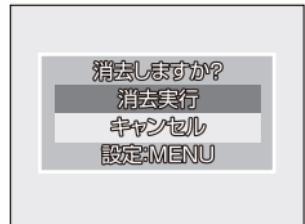
A2. 「消去しますか?」が表示されます。

A3. 上または下ボタンを押して「消去実行」または「キャンセル」を選択し、メニュー/OKボタンを押して実行します。

消去実行 :表示されているファイルが削除されます。

キャンセル:ファイルを削除しません。

A2. B1.



☒ 「全ファイル」を選択した場合

B1. 「消去しますか?」が表示されます。

B2. 上または下ボタンを押して「消去実行」または「キャンセル」を選択し、メニュー/OKボタンを押して実行します。

消去実行 :ファイルを全て削除します。

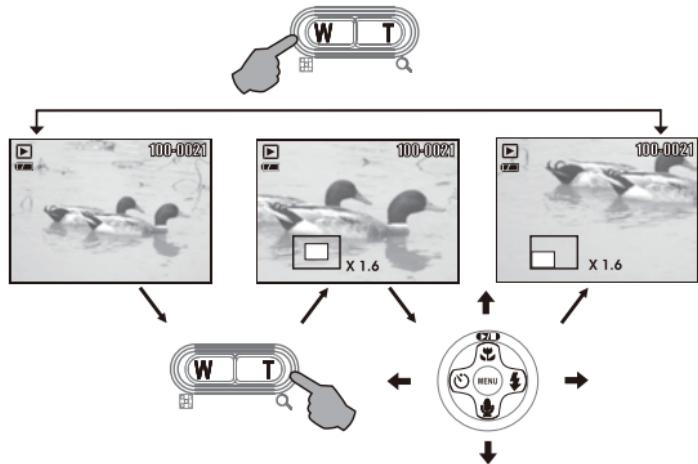
キャンセル:ファイルを削除しません。



再生モード

再生画像の拡大

- ズームボタン右(T) を押し続けると、静止画像を最大8倍まで拡大表示することができます。
- マルチ選択ボタンの上/下または左/右ボタンを押すと表示部分を移動できます。
- ズームボタン左(W) ボタンを押し続けると、通常サイズの画像に戻ります。



※一部実際の画面と異なります。



◆再生画像の拡大は静止画再生専用メニューです。



再生モード

■ トリミング

画面構成上、不要な部分をカットしたい場合に使用します。

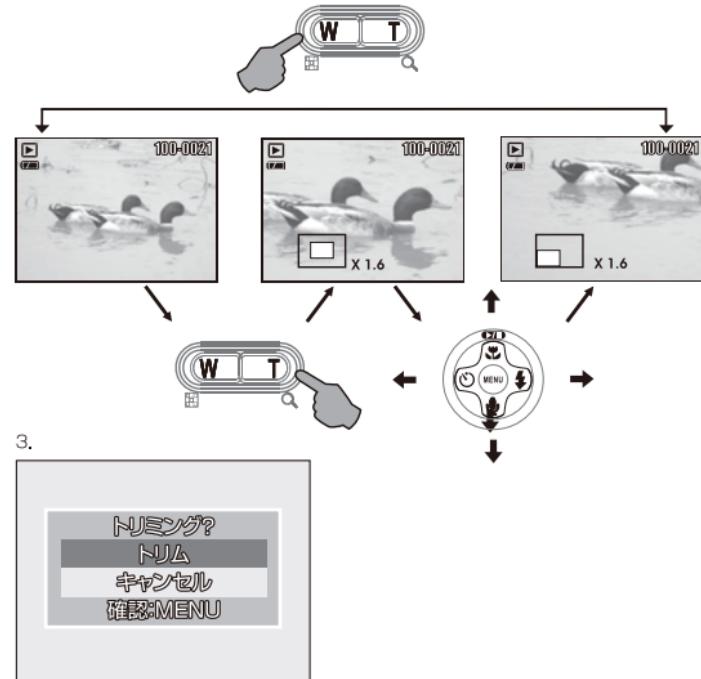
1. トリミングする画像を選択します。
2. ズームボタン右(T) を押して拡大し、マルチ選択ボタンの上/下または左/右ボタンを押して位置を調整します。
3. メニュー/OKボタンを押します。「トリミング?」が表示されますので上または下ボタンを押して「トリム」または「キャンセル」を選択し実行します。

トリム : トリミングします。

キャンセル : トリミングしません。



- ◆ トリミングは静止画再生専用メニューです。
- ◆ トリミングした画像は別ファイルとして保存されます。





再生モード

» スライドショー

メモリに記録されているすべての画像(動画・静止画)を一定の間隔で一枚づつ表示します。

1. メニュー/OKボタンを押します。マルチ選択ボタンの左または右に押して「スライドショー」を選択します。
2. マルチ選択ボタンの上または下ボタンを押して「再生間隔」を選択し、右ボタンを押します。
3. 上または下ボタンを押して「2秒」「3秒」「5秒」「10秒」を選択し、メニュー/OKボタンを押します。
4. 上または下ボタンを押して「効果」を選択し、マルチ選択ボタンの右ボタンを押します。
5. 上または下ボタンを押して、効果(画面表示方法)の種類を選択し、メニュー/OKボタンを押します。
6. 上または下ボタンを押して「再生モード」を選択し、右ボタンを押します。
7. 上または下ボタンを押して「1プレイ」または「繰り返し」を選択し、メニュー/OKボタンを押します。

1プレイ:一巡してスライドショーを終了します。

繰り返し:スライドショーを繰り返します。

スライドショーを開始します。

スライドショーを終了する場合は、上ボタンを押します。

2.



◆動画はファイルの最初のシーンが静止して表示されます。



再生モード

□ カードにコピー

内蔵メモリに保存されたファイル(画像等)をすべてSDカードにコピーすることができます。

- メニュー/OKボタンを押して再生メニューを表示します。
- マルチ選択ボタンの左または右ボタンを押して「カードにコピー」を選択します。
- 上または下ボタンを押して「いいえ」または「はい」を選択し、メニュー/OKボタンを押して決定します。
いいえ：コピーしません。
はい：内蔵メモリのファイルをすべてSDカードにコピーします。

2.



□ サイズ変更(画像調整)

静止画ファイルの静止画サイズを変更することができます。

- あらかじめサイズ変更する静止画を表示しておきます。
- メニュー/OKボタンを押して再生メニューを表示します。
- マルチ選択ボタンの左または右ボタンを押して「画像調整」を選択します。
- 上または下ボタンを押して希望の静止画サイズ
または起動画面を選択し、メニュー/OKボタンを押して決定します。

2.



- ◆ サイズ変更されたファイルは、別ファイルとして保存されます。
- ◆ 元の静止画サイズより大きくすることはできません。
- ◆ 画像調整は静止画専用メニューです。
- ◆ 起動画面の設定方法はP.56をご覧ください。



再生モード

再生モード ■ 画像の回転

静止画を回転することができます。

1. マルチ選択ボタンの左または右ボタンを押して、回転させる静止画を選択します。
2. メニュー/OKボタンを押して再生メニューを表示します。
3. 左または右ボタンを押して「回転」を選択します。
4. 上または下ボタンを押して、下記項目を選択し、メニュー/OKボタンを押して決定します。

右方向に90度 :時計まわりに90度回転します。

左方向に90度 :反時計まわりに90度回転します。

180度 :180度回転します。

水平方向 :ミラーのように左右反転します。

垂直方向 :水平を軸にして垂直方向に左右反転します。

2.



- ◆ 画像回転されたファイルは、別ファイルとして保存されます。
- ◆ 画像回転は静止画専用メニューです。
- ◆ 回転された画像はDSC935Zでのみ表示されます。パソコンでは通常通りに表示されます。



再生モード

☒ カラー効果

静止画の色を変更することができます。

1. マルチ選択ボタンの左または右ボタンを押して、カラー効果させる静止画を選択します。
2. メニュー/OKボタンを押して再生メニューを表示します。
3. 左または右ボタンを押して「カラー効果」を選択します。
4. 上または下ボタンを押して下記項目を選択し、メニュー/OKボタンを押して決定します。

ノーマル：効果を加えません。

白黒：白黒画像にします。

セピア：セピア画像にします。

ネガ：ネガフィルムのような効果を加えます。

2.



- ◆ カラー効果されたファイルは、別ファイルとして保存されます。
- ◆ カラー効果は静止画専用メニューです。



再生モード

» DPOF

DPOFは、DPOFをサポートするプリンタを使い、SD/SDHCメモリカードに保存されている静止画を直接プリントアウトしたり、写真店にプリントサービスを依頼する場合に手間を省くことができます。

1. マルチ選択ボタンの左または右ボタンを押して「DPOF」を選択します。
2. 上または下ボタンを押して項目を選択します。

» 印刷予約/枚数

プリントする画像を選択し、枚数を設定します。

- 1-1. 上または下ボタンを押して「印刷予約/枚数」を選択し、右ボタンを押します。
- 1-2. 上または下ボタンを押して「指定の画像」または「全画像」を選択し、メニュー/OKボタンを押して決定します。

指定の画像:選択した静止画をプリントします。

全画像 :すべての静止画をプリントします。

» 指定の画像を選択した場合

- A1. 左または右ボタンを押してプリントする画像を選択します。
- A2. 上または下ボタンを押してプリント枚数を設定し、メニュー/OKボタンを押します。
1画像最大30枚まで指定できます。
指定を取り消す場合はプリント枚数を00に設定してください。
- A3. 他の画像もプリントする場合は、左または右ボタンを押して画像を選択し、プリント枚数を指定してメニュー/OKボタンを押します。
- A4. シャッターボタンを押して再生画面に戻ります。

» すべての画像を選択した場合

- B1. 上または下ボタンを押してプリントする枚数を指定します。
最大30枚まで指定できます。
指定を取り消す場合はプリント枚数を00に設定してください。
- B2. メニュー/OKボタンを押して決定します。
- B3. シャッターボタンを押すと再生画面に戻ります。

1-2.



A2.



B1.





再生モード

▣ インデックス(索引)

プリント方法を選択します。

C1. 上または下ボタンを押して「インデックス」を選択し、右ボタンを押します。

C2. 上または下ボタンを押して「いいえ」または「はい」を選択し、メニュー/OKボタンを押して決定します。

いいえ：インデックス(索引)プリントしません。

はい：インデックス(索引)プリントします。

▣ 用紙(印刷)サイズ

プリントする用紙サイズを選択します。

D1. 上または下ボタンを押して「サイズ」を選択し、右ボタンを押します。

D2. 上または下ボタンを押して「印刷サイズ」を選択し、メニュー/OKボタンを押して決定します。

初期設定：プリント側で設定されたサイズです。

3×5～8×10：インチサイズの用紙です。

▣ キャンセル

DPOF設定のキャンセルができます。

E1. 上または下ボタンを押して「キャンセル」を選択し、右ボタンを押します。

E2. 上または下ボタンを押して「印刷予約/枚数」、「インデックス」または「印刷サイズ」を選択し、メニュー/OKボタンを押して決定します。

選択された設定がキャンセルされます。



◆ すべての設定が完了しましたら、モードボタンを押して、撮影画面に戻ります。



- この機能は、SD/SDHCメモリカードが装着されている場合のみ利用できます。
- 日付・時間は、カメラに設定されたものが印字されます。
撮影前に日付・時刻を正確に設定してください。P.20をご覧ください。
- DPOFは静止画専用メニューです。

1-2.

DPOF							
印刷予約/枚数	いいえ						
インデックス	はい						
印刷サイズ							
キャンセル							
設定:MENU							
移動: ▲▼							

A2.

DPOF							
印刷予約/枚数	初期値						
インデックス	3×5						
印刷サイズ	4×6						
キャンセル	5×7 8×10						
設定:MENU							
移動: ▲▼							

B1.

DPOF							
印刷予約/枚数	印刷予約/枚数						
インデックス	インデックス						
印刷サイズ	印刷サイズ						
キャンセル	キャンセル						
設定:MENU							
移動: ▲▼							



設定メニュー

▣ 基本設定

1. 静止画・動画撮影モードでメニュー/OKボタンを押します。
2. マルチ選択ボタンの左または右ボタンを押して「設定」を選択します。
3. 上または下ボタンを押して設定項目を選択し、右ボタンを押します。
4. 上または下ボタンを押して設定値等を選択し、メニュー/OKボタンを押して決定します。
5. メニュー/OKボタンを2度押すと撮影画面に戻ります。

▣ 液晶モニタ (LCDモニター設定) 輝度の設定 (初期設定:ノーマル)

液晶モニターの明るさを設定します。

ダーク : 暗め

ノーマル : 普通

ブライト : 明るめ



- ◆ 暗い室内では「ダーク」、屋外では「ブライト」に設定すると見やすくなります。
- ◆ ブライトに設定すると電池寿命が短くなります。



▣ 起動画面の設定

カメラの起動画面をオン/オフします。

オフ : 起動画面なしで立ち上ります。

ロゴ : 工場出荷状態のロゴで立ち上ります。

選択画面 : サイズ変更(画像調整) (P.51) で選択した起動画面で立ち上ります。



- ◆ 任意の画面で立ち上げには、あらかじめP.51「サイズ変更」で静止画ファイルを選択しておく必要があります。





設定メニュー

■ 起動音の設定 (初期設定:オン)

カメラの起動時の音をオン／オフします。

オン:起動音がします。

オフ:起動音がしません。



■ シャッター音の設定 (初期設定:オン)

シャッター音をオン／オフします。

オフ：シャッター音がしません。

オン：シャッター音がします。



■ ピープ音(システム音)の設定 (初期設定:オン)

カメラの操作音を設定します。

オフ：操作音がしません。

オン：操作音がします。



◆ピープ音をオフに設定するとシャッター音もオフになります。

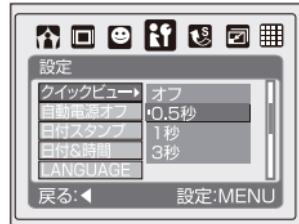


設定メニュー

■ クイックビューの設定(初期設定:0.5秒)

静止画の撮影直後の画像を液晶モニタに表示する時間を変更します。

- オフ :表示しません。
- 0.5秒:約0.5秒間表示します。
- 1秒 :約1秒間表示します。
- 3秒 :約3秒間表示します。



■ 自動電源オフ(初期設定:3分)

一定時間カメラを操作しない場合、自動的にカメラの電源をオフにして電池の消耗を防ぎます。

- オフ:自動的にオフしません。
- 1分:一分間操作をしないと電源がオフになります。
- 3分:三分間操作をしないと電源がオフになります。
- 5分:五分間操作をしないと電源がオフになります。
- 10分:十分間操作をしないと電源がオフになります。



◆約1分間、操作しないと液晶モニタがオフになります。いずれかのボタンを押すと再表示します。



設定メニュー

■ 日付プリント(日付スタンプ)の設定(初期設定:オフ)

撮影する静止画の日付プリントを設定します。

オフ :日付プリントを設定しません。

日付 :年月日をプリントします。

日付&時間 :年月日、時刻をプリントします。



- ◆日付プリントの設定は、静止画専用メニューです。
- ◆あらかじめ正確な年月日／時刻の設定をしてください。P.20「日付／時刻の設定」をご覧ください。

■ 日付／時刻の設定

液晶モニタに表示される日付の設定をします。

詳しくはP.20をご覧ください。

■ 言語の設定(初期設定:日本語)

液晶モニタに表示する言語を選択します。

詳しくはP.21をご覧ください。



設定メニュー

▶ ファイルの設定(初期設定:連続)

撮影した静止画・動画等のファイルは、自動的にファイル番号が付きます。

連続 :0001から連続した番号が付きます。

リセット:フォーマットすると0001から番号が再度始まります。



▶ USB接続(USB)の設定

USB接続先を設定します。

各機器と接続前に設定を完了してください。

コンピュータ:コンピュータと接続します。

プリンター :Pict Bridge(ダイレクトプリント)に対応したプリンタに接続します。

PC CAM :PCカメラとしてコンピュータに接続します。





設定メニュー

電源周波数(周波数)の設定(初期設定:50Hz)

撮影場所によって、正しい電源周波数を選択し、蛍光灯のチラツキを抑制します。

撮影場所の電源周波数50Hzまたは60Hzを選択します。



◆各国の電源周波数一覧

地 域	イギリス	ドイ ^ツ	フランス	イタリア	スペイン	オランダ	ロシア
設 定	50Hz	50Hz	50Hz	50Hz	50Hz	50Hz	50Hz
地 域	ポルトガル	アメリカ	台湾	中国	日本	韓国	タイ
設 定	50Hz	60Hz	60Hz	50Hz	50/60Hz	60Hz	50Hz

◆「電源周波数」設定は撮影する地域の電力の周波数規格に基づいています。

◆日本では50Hzと60Hzの交流電源が使われています。

静岡県の富士川から新潟県の糸魚川辺りを境に東側が50Hz、西側が60Hzです。



初期設定(リセット)

カメラの各設定を工場出荷状態に戻します。

はい :工場出荷状態に戻します。

いいえ :設定を戻しません。

「はい」を選択してメニュー/OKボタンを押すと、「リセット?」が表示されます。

マルチ選択ボタンの上または下ボタンで下記を選択して

メニュー/OKボタンを押して決定します。

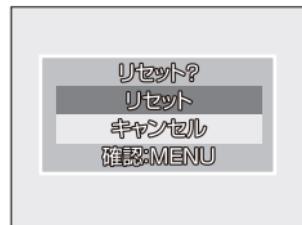
リセット :各設定を工場出荷状態に戻します。

キャンセル:リセットしません。



◆日付/時刻・言語はリセットされません。

◆リセットしても、初期値に戻りません。





設定メニュー

☒ フォーマットの設定

外部メモリカードまたは内蔵フラッシュメモリのフォーマットが行えます。
詳しくはP.17~P.19をご覧ください。



設定メニュー

■ 液晶モニタ (LCDモニター設定) の表示設定 (初期設定:詳細)

液晶モニタの表示を設定します。

- 1.マルチ選択ボタンのメニュー/OKボタンを押します。
- 2.左または右ボタンを押して「LCDモニター設定」を選択します。
- 3.上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、メニュー/OKボタンを押して決定します。

オフ :アイコンを表示しません。

基本 :最小限のアイコンを表示します。

詳細 :詳細な画面表示。

グリッド3×3 :9分割されたガイドラインが表示されます。

グリッド6×4 :24分割されたガイドラインが表示されます。



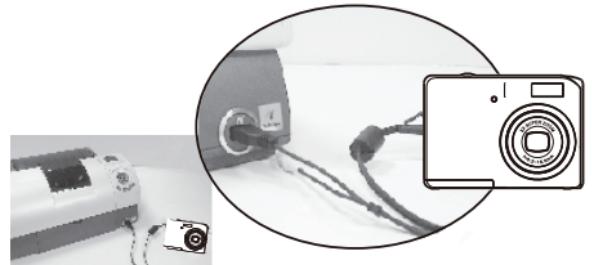


ダイレクトプリント

□ プリンタ接続

下記の手順で、カメラをPictBridge(ダイレクトプリント)に対応したプリンタに接続します。

1. カメラとプリンタの電源を入れます。
2. USB接続の設定をプリンターに設定します。
P.60「USB接続の設定」をご覧ください。
3. カメラとプリンタを付属のUSB-PC接続ケーブルで接続します。
ミニUSB端子(小さい方)をカメラに、
USB端子(大きい方)をプリンタに接続します。
4. マルチ選択ボタンの左または右ボタンを押して
各項目を設定してプリントを実行します。



2.



3.





ダイレクトプリント

□ 静止画のプリント

下記の手順でプリントする静止画を選択します。

1. マルチ選択ボタンの左または右ボタンを押して「印刷設定」を選択します。
2. 上または下ボタンを押して「1枚」または「全画像」を選択し、メニュー/OKボタンを押します。

□ 指定の画像(1枚)

- A1. 左または右ボタンを押してプリントする画像を選択します。
- A2. 上または下ボタンを押してプリント枚数を設定し、メニュー/OKボタンを押します。
- A3. 他の画像をプリントする場合は、左または右ボタンを押してプリントする画像をさらに選択し、枚数を設定します。
1画像最大30枚まで指定できます。
- A4. プリントしない画像は00枚に設定して下さい。
- A5. シャッターボタンを押してプリント画面に戻ります。

□ すべての画像(全画像)

- B1. 上または下ボタンを押してプリント枚数を指定します。
最大30枚まで指定できます。
- B2. 取り消す時は、枚数を00枚に設定してください。



- ◆DSC935Zは、PictBridgeの規格に準拠していますが、認証は受けていません。
- ◆お使いのプリンタによって、表示・設定項目が異なります。
- ◆お使いのプリンタの取扱説明書をご覧下さい。

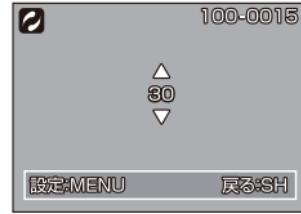
1.



A2.



B1.





ダイレクトプリント

□ オートセット

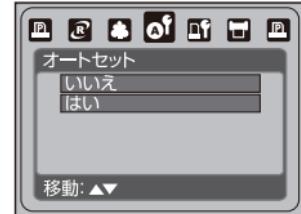
一般設定の各項目をすべて自動(オート)に設定します。

1. 左または右ボタンを押して「オートセット」を選択します。
2. 上または下ボタンを押して「はい」または「いいえ」を選択し、メニュー/OKボタンを押して決定します。

はい : 一般設定をすべてオートにします。

いいえ : 設定をオートに変更しません。

2.



□ 一般設定

プリントの設定をします。

1. 左または右ボタンを押して「一般設定」を選択します。
2. 上または下ボタンを押して下記項目を選択します。
3. 上または下ボタンを押し、各項を設定してメニュー/OKボタンを押します。

用紙サイズ : プリント用紙のサイズを設定します。

レイアウト : 一枚にプリントする画像枚数を設定します。

用紙タイプ : プリント用紙の種類を設定します。

印刷品質 : プリント画質を設定します。

日付印刷 : 日付印字の有無を設定します。

ファイル名 : ファイル名印字の有無を設定します。

2.



4. 各設定が終了しましたら左ボタンを2回押してプリント画面に戻ります。

3.





ダイレクトプリント

▷ プリント(印刷)

- 左または右ボタンを押して「印刷」を選択します。
- 上または下ボタンを押して「スタンダード」または「インデックス」を選択し、メニュー/OKボタンを押して決定します。

スタンダード : 設定された静止画を指定した枚数1枚づつプリントします。

インデックス(索引) : 一枚の用紙に、複数の静止画にプリントします。

- プリントを開始します。

2.



▷ DPOFプリント(DPOF印刷)

プリンタがDPOFに対応している場合、静止画をDPOF(詳しくはP.54をご覧ください)情報により直接プリントすることができます。

- 左または右ボタンを押して「DPOF印刷」を選択します。
- 上または下ボタンを押して「はい」または「いいえ」を選択し、メニュー/OKボタンを押して決定します。

はい : DPOF情報によりプリント開始します。

いいえ : プリントを取り消します。

2.



◆ SD/SDHCメモリカードにあらかじめDPOF情報を設定しておく必要があります。



ダイレクトプリント

リセット

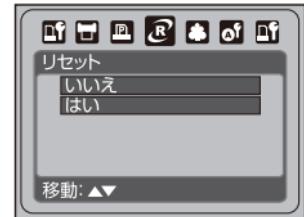
設定したプリントの各設定を戻す(初期化)ことができます。

1. 左または右ボタンを押して「リセット」を選択します。
2. 上または下ボタンを押して「いいえ」または「いいえ」を選択し、メニュー/OKボタンを押して決定します。

はい : すべてのプリントおよび画像の設定を初期設定値に戻します。

いいえ : 設定を戻しません。

2.



◆DPOFの情報はリセットされません。

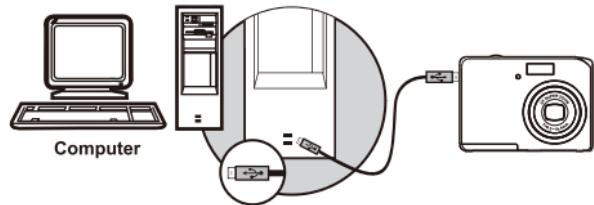


パソコンとの接続

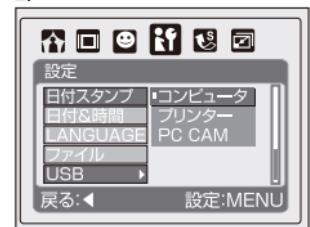
□ パソコンへ接続する

下記の手順で、カメラとパソコンを接続します。

1. カメラとパソコンの電源を入れます。
2. あらかじめUSBモードをコンピュータに設定します。
P.60「USB接続の設定」をご覧ください。
3. カメラとパソコンを付属のUSB-PC接続ケーブルで接続します。
大きいIUSB端子をパソコンに、
小さいIUSB(ミニUSB)端子をカメラに接続します。
4. 初めてパソコンを接続するとパソコンのモニタに
「新しいハードウェアが見つかりました」と小さく表示され、
しばらくすると「新しいハードウェアの使用準備ができました」と小さく表示されます。
5. カメラの液晶モニタが自動的にオフになります。
6. 「スタート」→「マイコンピュータ」→「リムバーブルディスク」→「DCMI」→
「1000MEDIA」の順にクリックしてください。
7. 「1000MEDIA」をダブルクリックしてフォルダを開いてください。
カメラに保存されたすべての動画・静止画・音声ファイルがあります。



2.



◆お使いのパソコンにより表示等は異なる場合があります。



パソコンとの接続

▣ 転送時のご注意

画像をパソコンに取り込む際には、以下の注意事項を必ず守ってください。



- [リムーバブルディスク] からコピーしてる際(画像取り込み時)は、USB-PC接続ケーブル、SDメモリカードを絶対に抜かないでください。
- [リムーバブルディスク] 内にあるフォルダ及びファイルの名前を変更しないでください。
- [リムーバブルディスク] 内にパソコンからデータなどをコピーしないでください。カメラの動作が不安定になる原因になります。
- [リムーバブルディスク] をパソコンでフォーマットしないでください。
- [DCIM] フォルダ内にあるファイルデータは、カメラ内に保存されているファイルデータを表示しています。
このフォルダにあるデータを削除してしまうと、カメラ内の画像が消去されてしまいますのでご注意ください。



- ◆ MacOS 10.0以降は動作いたしますが、サポート対象外です。
動作が不安定な場合は、SDカードリーダーライタを使用して読み書きしてください。
- ◆ パソコン初心者の方はSDメモリカードリーダ／ライタ(別売)の使用をお勧めします。
- ◆ パソコンで画像ファイルを編集する場合は、カメラから画像ファイル等を一度パソコンに保存して、
USB-PC接続ケーブルまたはSDカードを外してください。
パソコンに保存したファイルを編集してください。誤って元ファイルを壊すトラブルを避けられます。
- ◆ 終了する時は、お使いのOSに適した方法で安全に終了してください。



パソコンとの接続

□ PCカメラ

PCカメラとして使用します。

□ ドライバのインストール

PCカメラとして使用するには、すべてのOS [Windows 2000/XP(SP2)/Vista(32bit)]で専用ドライバをインストールする必要があります。このドライバのインストールは英語です。

1. 付属のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットしてください。
自動的にインストール画面が表示されます。表示されない場合は、「デスクトップ」から「マイコンピュータ」を開き、その中のCD-ROMドライブから「Driver CD」をダブルクリックします。
2. 「Web Cam Driver」をクリックします。
インストールの準備が始まります。「Next」をクリックします。
次のメニューが表示されます。「Next」をクリックします。
3. 途中で「No support」が表示されますが「OK」をクリックしてください。
4. インストールの終了画面が表示されます。
「Finish」をクリックします。パソコンを再起動してPCカメラドライバを有効にします。

1.



□ PCカメラの使用

1. カメラとパソコンの電源を入れます。
2. あらかじめUSBモードを「PC CAM」に設定します。P.60「USB接続の設定」をご覧ください。
3. カメラとパソコンを付属のUSB-PC接続ケーブルで接続します。
3. 初回のみしばらくして「新しいハードウェアの使用準備ができました」と小さく表示されます。
5. Windows Xpの場合、「スタート」→「マイコンピュータ」の「USBビデオデバイス」をダブルクリックするとPCカメラとして機能します。



- ◆終了する時は、各OSに適した方法で終了してください。
- ◆PCカメラの機能はサポート外となります。あらかじめご了承ください。



ソフトウェアのインストール

付属アプリケーションのインストール

ArcSoft MediaImpressionのインストール方法

1. 付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットしてください。
自動的にインストール画面が表示されます。表示されない場合は、
デスクトップから「マイコンピュータ」を開き、
その中のCD-ROMドライブから「Media Impression」をクリックし、
「Setup」をダブルクリックして開きます。
2. 「ArcSoft MediaImpression」をクリックします。
3. 「言語設定の選択」が表示されます。「日本語」等を選択して、
「OK」をクリックします。
4. 「Media Impression用のInstall Shield Wizardへようこそ」が
表示されます。「次へ」をクリックします。
5. 「使用許諾契約」が表示されます。
内容を確認し、同意する場合は「はい」をクリックします。

●次ページへ続く

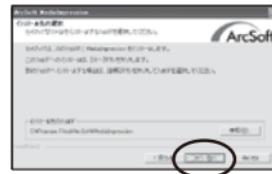




ソフトウェアのインストール

- 6.「インストール先の選択」が表示されます。インストール先を選択して、「次へ」をクリックします。インストールが開始されます。
- 7.「プログラム フォルダの選択」が表示されます。「次へ」をクリックします。インストールが開始されます。
- 8.「Install Shield Wizardの完了」が表示されます。「完了」をクリックしてください。パソコンを再起動してMedia Impressionを有効にします。

6.



7.



8.





ソフトウェアのインストール

☒ Media Impressionを使用する

Media Impressionは、カメラで撮影した動画・静止画をさらに楽しむソフトです。

簡単な補正、編集ができます。

「スタート」→「すべてのプログラム」→「ArcSoft MediaImpression」→
「Media Impression」をクリックして立ち上げます。

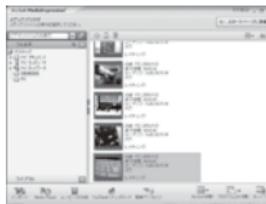
☒ 静止画ファイルの再生

1. Media Impressionを立ち上げ、「写真」をクリックします
2. フォルダの中から静止画の保存先を選択し、見たい静止画ファイルを選択します。



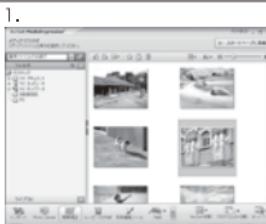
☒ 動画ファイルの再生

1. Media Impressionを立ち上げ、「ビデオ」をクリックします。
2. フォルダの中から動画の保存先を選択し、見たい動画ファイルを選択します。
3. 選択した動画ファイルをダブルクリックすると再生が開始されます。



☒ 静止画ファイルの取り込み

1. 表示された画像の中から拡大表示または編集する画像をクリックします。
2. ダブルクリックすると拡大表示されます。または下側の項目から「簡単補正」等を選択します。





ソフトウェアのインストール

④ 動画ファイルの取り込み

1. 表示された画像の中から拡大表示または編集する画像をクリックします。
2. 編集をする画像をクリックし、「ムービーの作成」等をクリックします。



◆Media Impressionの詳しい使い方は、ソフトウェアのヘルプ「その他」→「ヘルプ」をご覧ください。



トラブルシューティング

「故障かな?」と思ったらもう一度確認、点検してください。

④ カメラ操作時のトラブル

症状	原因	対策
電源が入らない。	電池の残量がないのでは?	新しいアルカリ乾電池と交換してください。(P.14参照)
	電池が正しくセットされていないのでは?	電池の向きを確認して、正しい方向にセットしてください。(P.14参照)
カメラの電源が突然切れる。	電源の自動電源オフ機能が作動したのでは?	電源ボタンを押して、再度電源をオンしてください。(P.16参照)
	電池の残量がないのでは?	新しいアルカリ乾電池と交換してください。(P.14参照)
画像が保存されない。	画像が保存される前に電池やSDカードを取り外したのでは?	画像が保存される前に電池やSDカードを取り外さないでください。(P.14・17参照)
セルフタイマを使用中に電源が切れる。	電池の残量がないのでは?	新しいアルカリ乾電池と交換してください。(P.14参照)
ピントが合わない。	撮影距離が適正でないのでは?	正しい距離で撮影し、近接撮影の場合はマクロモードを選択してください。(P.10参照)
SDメモリカードが使用できない。	SDメモリカードがロックされているのでは?	SDメモリカードに付いている“ライトプロテクツイッチ”がロックされていると、データの記録・消去を行うことができません。ロックを解除してください。(P.18参照)
	SDメモリカードに、他のカメラで撮影した画像が含まれているのでは?	SDメモリカードを本製品でフォーマットしてください。(P.19参照)
すべてのボタンが作動しない。	カメラを他の機器に接続している時に、ショートしたのでは?	電池をカメラから取り外し、入れ直してください。(P.14参照)
ファイルが削除できない。	ファイルが保護されているのでは?	保護を解除してください。(P.45参照)



トラブルシューティング

☒ エラーメッセージの対処

エラーメッセージ	原因と対策
メモリーが一杯です	画像を保存できるだけのカードのメモリ容量がありません。 メモリカードに保存された画像を削除するか、または新しいメモリカードを挿入してください。
メモリーが一杯です	画像を保存できるだけの内部メモリの容量がありません。 フラッシュメモリに保存された画像を削除してください。
カードがロックされています	メモリカードが保護されています。プロテクツイッチを保護解除位置に設定してください
画像なし	メモリカードまたは内蔵フラッシュメモリに画像が保存されていません。
ファイルエラー	他のカメラで撮影されたファイル、メモリカードとの通信エラー等 正常に記録されていません。削除またはフォーマットしてください。
メモリエラー	メモリが破損しているか、または障害があります。メモリカードまたは内蔵フラッシュメモリをフォーマットしてください。
カードエラー	カードが破損しているか、または障害があります。新しいメモリカードを挿入してください。
光量が不足しています	フラッシュオフまたは夜景モードで撮影するには暗すぎます。ぶれないように注意してください。 フラッシュモードを自動または強制発光に設定してください。 三脚等の使用をお勧めします。



仕様

記録可能枚数／時間の目安

静止画

サイズ	画質	SDメモリカード			SDHCメモリカード	
		512MB	1GB	2GB	4GB	8GB
9M (912万画素)	スーパーフайн	300枚	465枚	929枚	1859枚	3717枚
	ファイン	301枚	580枚	1159枚	2319枚	4638枚
	ノーマル	395枚	681枚	1363枚	2725枚	5450枚
5M (503万画素)	スーパーフайн	260枚	610枚	1221枚	2441枚	4882枚
	ファイン	495枚	823枚	1646枚	3291枚	6583枚
	ノーマル	629枚	1205枚	2410枚	4820枚	9640枚
1M (122万画素)	スーパーフайн	1000枚	2322枚	4645枚	9290枚	18580枚
	ファイン	1629枚	2998枚	5996枚	11992枚	23984枚
	ノーマル	2116枚	4170枚	8340枚	16681枚	33362枚

動画

サイズ	SDメモリカード			SDHCメモリカード	
	512MB	1GB	2GB	4GB	8GB
720×480 (30fps)	7分	14分	27分	54分	109分
640×480 (30fps)	8分	15分	30分	61分	121分
320×240 (30fps)	27分	54分	108分	215分	430分



◆撮影の状況・被写体によって記録されるファイルサイズが一定ではないため、記録可能枚数／時間に差が出ます。上記表は目安としてご参考ください。



仕様

▣ 必要システム

以下の条件を満たすパソコンが必要となります。

- 下記OSがプリインストールされたパソコン
- USBインターフェース(1.1以上)を標準装備したパソコン

Windows対応OS	
2000Pro.(SP4) / XP(SP2) / Vista (32bit)	
CPU	MMX Pentium233MHz以上 (XP:Pentium II 300MHz以上)
メモリ	64MB 以上(XP:128M以上)
ハードディスクの空き容量	140MB以上
ドライブ	CD-ROMドライブ必須
ディスプレイ	16ビット以上(24ビット推奨)
インターフェース	USB1.1/2.0

動作保証について

- 動作環境を満たすPC中でも、一部機種の設定、構成により正常に動作しない場合があります。あらかじめご了承ください。
- Windows OSをアップグレードしたパソコンでは動作保証いたしません。
- Macintosh OS 10.0以降では動作いたしますがサポート対象外です。
動作が不安定な場合は、SDメモリカードリーダーライターを使用して
読み書きしてください。
- USBハブや拡張USBポートに接続した状態での使用、自作機および改造を加えた
パソコンについては動作保証いたしません。



仕様

仕様

イメージセンサ	1/2.3型 CMOS
総画素数	915万画素
有効画素数	912万画素
レンズ	f = 6.2mm~18.6mm F3.0/5.6 35mmフィルム換算 35mm~105mm相当
ズーム	光学3倍 デジタル5倍
液晶モニタ	2.4型 TFT
撮影距離	標準:約0.3m ~ ∞ マクロ:約5cm~30 cm (W)
内蔵メモリ	32MB
外部メモリカード	SDメモリカード:32MB~2GBまで SDHCメモリカード:4GB~32GBまで
ファイル形式	静止画:JPEG 動画: MJPEG (AVI)
静止画	サイズ:1M、5M、9M、12M (ソフトウェア補間)
動画	サイズ:320×240 (30fps) QVGA 640×480 (30fps) VGA 720×480 (30fps) D1
音声形式	PCM
シャッタースピード	1/2000~1/2秒
測光方式	マルチ測光、部分測光
ISO感度	自動、100/200/400
セルフタイマー	10秒、2秒、10+2秒

内蔵フラッシュ	モード :自動、強制発光、発光禁止、 赤目軽減、スローシンクロ 有効範囲:約1.0m~2.0m
ホワイトバランス	オート、昼光、曇り、白熱灯、蛍光灯、夕景
露出補正	±2.0EV (0.5EVステップ)
電源	単3形アルカリ乾電池 2本
出力ポート	USB 1.1/2.0
寸法	約87.3 (L) X 61.6 (H) X 28.5 (W) mm
重量	約 108g (付属品、電池を含まず) 約 157g (乾電池・SDメモリカード含む参考値)

■ 同梱品

カメラ本体、CD-ROM、単3アルカリ乾電池2本、USB-PC接続ケーブル
ストラップ、ポーチ、取扱説明書、クイックスタートガイド